



PRESS RELEASE

令和3年10月4日
海上幕僚監部

(お知らせ)

日米英蘭加新共同訓練について

海上自衛隊は、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けて連携を強化すべく、次のとおり米海軍、イギリス海軍、オランダ海軍、カナダ海軍及びニュージーランド海軍と共同訓練を実施しました。

1 目的

海上自衛隊の戦術技量の向上及び参加国海軍との連携の強化

2 期間

令和3年10月2日(土)・10月3日(日)

3 訓練海空域

沖縄南西

4 参加部隊

- (1) 海上自衛隊：護衛艦「いせ」・「きりしま」・「やまぎり」
- (2) 米海軍：空母「ロナルド・レーガン」・「カール・ヴィンソン」
巡洋艦「シャイロー」・「レイク・シャンプレーン」、
駆逐艦「ザ・サリバンス」・「チャフィー」
- (3) イギリス海軍：空母「クイーン・エリザベス」、フリゲート艦「ケント」、
駆逐艦「ディフェンダー」、
補給艦「フォート・ビクトリア」・「タイドスプリング」
- (4) オランダ海軍：フリゲート艦「エファーツェン」
- (5) カナダ海軍：フリゲート艦「ウィニペグ」
- (6) ニュージーランド海軍：フリゲート艦「テ・カハ」

5 訓練項目

対抗戦、防空戦、対潜戦、戦術運動、通信訓練等

6 その他

新型コロナウイルス感染症への必要な対策を行い実施しました。



「カール・ヴィンソン」、「いせ」他、各国の参加艦艇



手前から「ロナルド・レーガン」、「クイーン・エリザベス」、「いせ」
「カール・ヴィンソン」